

## 4. 届出の記入例

### (1) 届出書の記入例

記入例

第1号様式（第3条関係）

#### 景観計画区域内における行為の届出書

奈良県知事 殿

〇〇年〇〇月〇〇日

届出者 住所 〇〇市〇〇町〇〇番地

氏名 〇〇 〇〇

電話番号 0742-22-〇〇〇〇

景観法第16条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

行為の場所	〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地				
行為の場所に係る区域	<input checked="" type="checkbox"/> 一般区域（用途地域：第1種住居地域） <input type="checkbox"/> 第1種特定区域 <input type="checkbox"/> 第2種特定区域 <input type="checkbox"/> 広域幹線沿道区域				
行為の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物 <input type="checkbox"/> 新築 <input checked="" type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input checked="" type="checkbox"/> 色彩の変更		届出部分	既存部分	合 計
		建築面積	1,500.00 m <sup>2</sup>	500.00 m <sup>2</sup>	2,000.00 m <sup>2</sup>
		高さ	15.00 m	10.00 m	15.00 m
		外観変更面積	m <sup>2</sup>	200.00 m <sup>2</sup>	200.00 m <sup>2</sup>
	<input checked="" type="checkbox"/> 工作物 <input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更	工作物の種類	鉄筋コンクリート柱		
			届出部分	既存部分	合 計
		築造面積	工作物① 40.00 m <sup>2</sup> 工作物② 55.00 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	工作物① 40.00 m <sup>2</sup> 工作物② 55.00 m <sup>2</sup>
		高さ	工作物① 19.32 m 工作物② 22.48 m	m	工作物① 19.32 m 工作物② 22.48 m
	<input checked="" type="checkbox"/> 開発行為 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更 <input type="checkbox"/> 土地の開墾 <input type="checkbox"/> 土石の採取 <input type="checkbox"/> 鉱物の掘採 <input type="checkbox"/> その他	目的	建築行為に伴う敷地の切り盛り		
		面積	5000.00 m <sup>2</sup>		
		のり面又は擁壁	高さ	よう壁① 6.00 m	よう壁② 5.25 m
			長さ	よう壁① 20.00 m	よう壁② 13.25 m
	<input checked="" type="checkbox"/> 物件の堆積 <input type="checkbox"/> 土石 <input type="checkbox"/> 廃棄物 <input type="checkbox"/> 再生資源 <input type="checkbox"/> その他	目的	土石の堆積		
		面積	5,000.00 m <sup>2</sup>	堆積の高さ	5.23 m
		堆積の期間	〇〇年 〇月 〇日 ~ 〇〇年 〇月 〇日		
代理者		住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 〇〇設計事務所（担当：〇〇）	電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇		
設計者	住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 〇〇設計事務所 〇〇 〇〇	電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇			
工事施工者	住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 (株) 〇〇建設 (代) 〇〇 〇〇	電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇			
予定工期	(着工) 〇〇年 〇月 〇日 ~ (完了) 〇〇年 〇月 〇日				

一敷地に建築行為や開発行為など複数の行為がある場合は、各該当項目部分に記載する

一敷地に2以上存する場合は、記入枠を増やすか別紙に記載する

- 備考 1 法人その他の団体にあっては、その名称、主たる事業所の所在地及び代表者の氏名を記入してください。  
 2 該当する□内に、レ印を付してください。  
 3 行為の種類に応じて、別紙1から3までのいずれかを記入し、併せて提出してください。

## 第2号様式（第5条関係）

## 景観計画区域内における行為の変更届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

奈良県知事 殿

届出者 住 所 〇〇市〇〇町〇〇番地

氏 名 〇〇 〇〇

電話番号 0742-22-0000

景観法第16条第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

行為の場所		〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地				
当初届出年月日及び番号		〇〇年〇〇月〇〇日 第〇〇号				
		変更前		変更後		
<div style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">変更した各該当項目部分に記載する</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">変更した部分のみ記載する</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; bottom: 50%; transform: translateY(50%);">期間変更した場合に記載する</div>	<div style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">変更した各該当項目部分に記載する</div>	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物 <input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更	建築面積	1,500.00 m <sup>2</sup>	1,600.00 m <sup>2</sup>	
			高さ	18.25 m	20.25 m	
			外観変更面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	
		<input checked="" type="checkbox"/> 工作物 <input type="checkbox"/> 新設 <input checked="" type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input checked="" type="checkbox"/> 色彩の変更	工作物の種類	コンクリートプラント	同 左	
			築造面積	250.00 m <sup>2</sup>	260.00 m <sup>2</sup>	
			高さ	20.00 m	25.00 m	
			外観変更面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	
		<input type="checkbox"/> 開発行為 <input checked="" type="checkbox"/> 土地の形質の変更 <input checked="" type="checkbox"/> 土地の開墾 <input type="checkbox"/> 土石の採取 <input type="checkbox"/> 鉱物の掘採 <input type="checkbox"/> その他	目的	駐車場の設置	同 左	
			面積	3,500.28 m <sup>2</sup>	同 左 m <sup>2</sup>	
			のり面 又は擁壁	高さ	5.48 m	5.89 m
				長さ	20.47 m	25.27 m
			<input checked="" type="checkbox"/> 物件の堆積 <sup>たい</sup> <input checked="" type="checkbox"/> 土石 <input type="checkbox"/> 廃棄物 <input type="checkbox"/> 再生資源 <input type="checkbox"/> その他	目的	碎石の堆積	同 左
	面積			350.35 m <sup>2</sup>	550.00 m <sup>2</sup>	
	堆積の高さ <sup>たい</sup>	5.25 m		6.25 m		
	堆積の期間 <sup>たい</sup>	1年間		同 左		
	着工予定日又は完了予定日	着工予定日	〇〇年 12月 1日	〇〇年 12月 10日		
完了予定日		〇〇年 3月 1日	〇〇年 3月 30日			
その他の変更事項	変更前		変更後			
	敷地内の緑化面積を変更 変更前は6%		変更後5%			
変更理由		設備機器の変更によりプラントの築造面積が拡大した。				
代理人	住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 〇〇設計事務所（担当：〇〇） 電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇					

- 備考 1 法人その他の団体にあつては、その名称、主たる事業所の所在地及び代表者の氏名を記入してください。
- 2 変更後の欄は、変更した事項のみ記入してください。
- 3 該当する□内に、レ印を付してください。
- 4 景観計画区域内における行為の届出書に添付した図書のうち、この届出に係る変更に関係があるものに、当該変更の内容を表示して添付してください。
- 5 行為の種類に応じて、別紙1から3までのいずれかに変更した事項を記入し、併せて提出してください。

## 建築物概要書

建物用途				共同住宅										
敷地面積				5,678.00 m <sup>2</sup>										
				届出部分		既存部分 ←								
構造及び階数				( 一部鉄筋コンクリート造鉄骨造 ) 地上 5階 / 地下 1階		( 一部鉄筋コンクリート造鉄骨造 ) 地上 3階 / 地下 0階								
屋外に設置する建築設備の種類				キュービクル 受水槽・高架水槽 エアコン室外機		キュービクル 受水槽・高架水槽								
道路からの最小の後退距離				3.12 m		5.00 m								
外 部 仕 上 げ	第一立面	屋根	色彩		3PB 3.0/1.0		各立面の面積割合	90 %		3PB 4.0/1.0		各立面の面積割合	100 %	
			彩色のない部分の素材		天窓のガラス			5 %					%	
			光源等	点減有無	□点減 <input checked="" type="checkbox"/> 非点減			5 %	□点減 □非点減		m		%	
				設置高さ	13.00 m									
		外壁	色彩		9YR 5.0/3.0 8YR 3.0/2.5 N 6.0		55 % 15 % 5 %	8G 4.0/2.0 N 5.0		70 % 10 %				
			彩色のない部分の素材		窓ガラス 御影石			15 % 5 %			窓ガラス		20 %	
			光源等	点減有無	□点減 <input checked="" type="checkbox"/> 非点減			5 %	□点減 □非点減		m	%		
				設置高さ	4.25 m									
	第二立面	屋根	色彩		3PB 3.0/1.0		各立面の面積割合	100 %		3PB 4.0/1.0		各立面の面積割合	100 %	
			彩色のない部分の素材					%					%	
			光源等	点減有無	□点減 □非点減			%	□点減 □非点減		m		%	
				設置高さ	m									
		外壁	色彩		9YR 5.0/2.0 8YR 3.0/1.0 (強調色) 5Y 7.0/8.5		60 % 15 % 5 %	8G 4.0/2.0 N 5.0		90 % 10 %				
			彩色のない部分の素材		窓ガラス 御影石			15 % 5 %					%	
			光源等	点減有無	□点減 □非点減			%	□点減 □非点減		m	%		
				設置高さ	m									
	仕上げ		色彩		3PB 3.0/1.0			100 %		3PB 4.0/1.0			100 %	

後退距離は原則1m以上

光源面積は外壁面の5分の1以下

既存建築物等がある場合に記載する

各々の合計が100%になる

色彩基準に適合させる・強調色の使用制限あり

自然素材もこの欄に記載する

第三立面	屋根	彩色のない部分の素材		天窓のガラス		各立面の面積割合	5 %		各立面の面積割合	%	
		光源等	点減有無	<input type="checkbox"/> 点減 <input type="checkbox"/> 非点減				<input type="checkbox"/> 点減 <input type="checkbox"/> 非点減			
			設置高さ	m			%	m		%	
	外壁	色彩		9YR 5.0/2.0 8YR 3.0/1.0 N 6.0		積割合	60 % 15 % 5 %	8G 4.0/2.0 N 5.0	面積割合	70 % 10 %	
		彩色のない部分の素材		窓ガラス 御影石			15 % 5 %	窓ガラス		20 %	
		光源等	点減有無	<input type="checkbox"/> 点減 <input type="checkbox"/> 非点減				<input type="checkbox"/> 点減 <input type="checkbox"/> 非点減			
	設置高さ		m		%	m	%				
	第四立面	屋根	色彩		3PB 3.0/1.0		各立面の面積割合	100 %	3PB 4.0/1.0	各立面の面積割合	100 %
			彩色のない部分の素材					%			%
			光源等	点減有無	<input type="checkbox"/> 点減 <input type="checkbox"/> 非点減				<input type="checkbox"/> 点減 <input type="checkbox"/> 非点減		
		設置高さ		m		%	m	%			
		外壁	色彩		9YR 5.0/2.0 8YR 3.0/1.0 (強調色) 5Y 7.0/8.5		積割合	60 % 15 % 5 %	8G 4.0/2.0 N 5.0	面積割合	90 % 10 %
彩色のない部分の素材			窓ガラス 御影石		15 % 5 %			%			
光源等			点減有無	<input type="checkbox"/> 点減 <input type="checkbox"/> 非点減				<input type="checkbox"/> 点減 <input type="checkbox"/> 非点減			
	設置高さ		m		%	m		%			
敷地の緑化	樹木による植栽	高木	10 本	換算面積	70 m <sup>2</sup> +30 m <sup>2</sup> +10 m <sup>2</sup> = 110 m <sup>2</sup>	本	換算面積	m <sup>2</sup>			
		中木	10 本			本					
		低木	10 本			本					
	芝生等による植栽		200 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>						
	緑化の合計面積		310 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>						
	緑地率		5.4 %		%						
門・塀等	構造	コンクリートブロックにリシン吹きつけ									
	高さ	1.2 m		m							
	色彩	3R 5.5/1.0									

強調色は外壁面の1/5 (1/10) 以下

緑化面積は原則3%以上確保

- 備考
- 1 色彩については、マンセル値（色相・明度・彩度）を記入してください。
  - 2 該当する□内に、レ印を付してください。

## 工作物概要書

工作物の種類		鉄塔										
敷地面積		150.00 m <sup>2</sup>										
		届出部分					既存部分					
構造		(一部 鉄骨 造 造)					(一部 造 造)					
建築物と一体となって設置される場合の地盤面からの高さ		20.00 m					m					
道路からの最小の後退距離		3.00 m					m					
外 部 仕 上 げ	第一立面	色彩		5YR 2.0/1.0 N 6.0		各立面の面積割合	85 %	各立面の面積割合			%	
		彩色のない部分の素材		自然石 (花崗岩)			10 %					10 %
		光源等	点滅有無	<input type="checkbox"/> 点滅 <input checked="" type="checkbox"/> 非点滅			3 %		<input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 非点滅			%
			設置高さ	3.00 m			2 %		m			%
	第二立面	色彩		5YR 2.0/1.0 N 6.0		各立面の面積割合	90 %	各立面の面積割合			%	
		彩色のない部分の素材					10 %					10 %
		光源等	点滅有無	<input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 非点滅			%		<input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 非点滅			%
			設置高さ	m			%		m			%
	第三立面	色彩		5YR 2.0/1.0 N 6.0 (強調色) 5R 7.0/8.0		各立面の面積割合	80 %	各立面の面積割合			%	
		彩色のない部分の素材					10 %					10 %
		光源等	点滅有無	<input type="checkbox"/> 点滅 <input checked="" type="checkbox"/> 非点滅			5 %		<input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 非点滅			%
			設置高さ	3.00 m			5 %		m			%
	第四立面	色彩		5YR 2.0/1.0 N 6.0		各立面の面積割合	85 %	各立面の面積割合			%	
		彩色のない部分の素材					10 %					10 %
		光源等	点滅有無	<input checked="" type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 非点滅			5 %		<input type="checkbox"/> 点滅 <input type="checkbox"/> 非点滅			%
			設置高さ	3.00 m			5 %		m			%
敷地の緑化	樹木による植栽	高木	10 本		換算面積			本	換算面積	m <sup>2</sup>		
		中木	本								本	
		低木	本			70 m <sup>2</sup>					本	
	芝生等による植栽				10 m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>			

後退距離は原則1m以上

合計が100%になる

色彩基準に適合させる・強調色の使用制限あり

光源面積は外壁面の5分の1以下

	緑化の合計面積	80 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
	緑地率	53.33 %	%
門・塀等	構造		
	高さ	m	m
	色彩		

緑化面積は原則3%以上確保

- 備考
- 1 色彩については、マンセル値（色相・明度・彩度）を記入してください。
  - 2 該当する□内に、レ印を付してください。

別紙 3

開発行為及び土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更並びに屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積概要書

開発行為、土地の開墾その他の土地の形質の変更	目的	・開発行為に伴う、敷地の切り土・盛り土 ・切り盛りにより一部のり面が発生		
	のり面又は擁壁	勾配	のり面 40 %	
		緑化の方法	・のり面を種子吹付けにより緑化する ・のり面中間部の犬走りに植栽（ユキヤナギ、ツツジ）する	
	行為地周辺の緑化の方法	・敷地周辺に生け垣（サザンカ）を設置する		
土石の採取又は鉱物の掘採	採取又は掘採の方法	・石材（生駒石）の露天掘		
	行為地周辺の緑化の方法	・敷地周辺にカエデ類を植林する		
	跡地の緑化の方法	・平坦部は、保護ブロック工法で、カシ、コナラ等により緑化する ・残壁のり面部分は、緑化基材吹付けで、カシ・ヤシヤブシ等により緑化する		
屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積	物件の種類	・土砂の堆積		
	行為地周辺の緑化の方法	・周囲にウバメガシによる生垣を設ける ・のり面部分に芝生を貼る		
	遮へいの方法	・敷地境界に塀及び生垣を設置し、堆積物を遮へいする		
共通事項	塀、柵等	構造	鋼板波板	
		高さ	2.00 m	m
		色彩	N 5.0	

該当する項目部分に記載する

色彩基準に適合させる・強調色の使用制限あり

備考 色彩については、マンセル値（色相・明度・彩度）を記入してください。

## 第6号様式（第11条関係）

## 行為完了届出書

奈良県知事 殿

〇〇年〇〇月〇〇日

届出者 住 所 〇〇市〇〇町〇〇番地

氏 名 〇〇 〇〇

電話番号 〇 7 4 2 - 2 2 - 〇 〇 〇 〇

奈良県景観条例第15条の規定により、次のとおり届け出ます。

行為の場所	〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地	
行為の場所に係る区域	<input checked="" type="checkbox"/> 一般区域（用途地域：近隣商業地域） <input type="checkbox"/> 第1種特定区域 <input type="checkbox"/> 第2種特定区域 <input type="checkbox"/> 広域幹線沿道区域	
届出年月日及び番号	〇〇年〇〇月〇〇日 第〇〇号	
代理者	住所 〇〇市〇〇町〇〇番地 氏名 〇〇設計事務所（担当：〇〇） 電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	
行為の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物 <input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更	
	<input checked="" type="checkbox"/> 工作物 <input type="checkbox"/> 新設 <input checked="" type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更	
	工作物の種類	コンクリートプラント
工期	着手年月日	〇〇年〇〇月〇〇日
	完了年月日	〇〇年〇〇月〇〇日

該当する部分に記入する

- 備考 1 法人その他の団体にあつては、その名称、主たる事業所の所在地及び代表者の氏名を記入してください。
- 2 該当する□内に、レ印を付してください。



(参考様式)

## 委任状

代理人

住所 〇〇市〇〇町〇〇番地連絡先（電話番号） 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇資格 一級建築士 登録番号 第〇〇〇〇〇号氏名 〇〇 〇〇建築士事務所名 一級建築士事務所 奈良県知事登録 第〇〇-〇〇〇号

私は、上記の者を代理人と定め、下記の業務に関する一切の権限を委任します。

記

（行為の場所） 〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地 における

景観法に基づく届出に関する業務。その他これに付随する業務。

〇〇年〇〇月〇〇日

委任者

住所 〇〇市〇〇町〇〇番地氏名 〇〇（株）代表取締役 〇〇 〇〇

## (2) チェックシートの記入例

記 入 例

景観法届出のチェックシート  
【一般区域】

[建築物]

届出者の氏名	〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇			
行為の場所	〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地			
周辺景観の特性	・行為地は、国道〇〇号線の沿道沿いにある商業地域で、沿道周辺には商業施設が建ち並んでいる。敷地の背景には共同住宅及び戸建て住宅が建ち並び、工場も点在している。 ・行為地は、閑静な住宅地にあり、周辺は低層の専用住宅が建ち並んでいる。当該地は公園に隣接し、公園内には高木の樹木が茂っている。また、近隣の住宅はツツジの生垣が多くある。 ・行為地は旧集落に近接した田畑が広がる位置にあり、背景には大和青垣の山並みが見渡せる。近隣の建物は和瓦の入母屋づくりの戸建て住宅が多くある。			
項目	基準	適用	具体的な配慮又は工夫の内容	※適・否
共通事項	1・景観上重要な山々や丘陵、歴史的な遺産等に対する主要な視点場 <sup>*1</sup> からの眺望に配慮すること。	有・無	・建築物背景にある〇〇山の△△からの眺望に配慮して、配置を工夫し、高さを抑えるため、高架水槽を取りやめ加圧式給水として、屋上突出物を無くした。	適・否
	2・地域の個性を尊重し、地域の景観に与える違和感や雑然さを軽減するよう努め、地域全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有・無	・周辺の住宅地に配慮して敷地周囲は生垣とした。 ・周辺の歴史的な町並みに配慮して、分棟化により規模を抑えるとともに、伝統的な意匠を随所に取り入れた。 ・会社のC Iである屋上の塔や敷地周囲の工作物などをなくし、アクセントカラーやワンポイントの装飾により雑然さを軽減した。	適・否
	3・行為地内に複数の建築物、工作物等を設ける場合は、全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有・無	・倉庫・車庫は、主建築物と合わせた色彩、勾配屋根とし、ゲートなどの工作物もシンプルなものとするすることで、全体としての調和に配慮した。	適・否
配置、規模及び高さ	1・良好な周辺景観との調和に配慮した配置、規模及び高さとする。	有・無	・全面道路から壁面を5m後退し、ゆとりある沿道空間を形成した。 ・2棟に分棟して、周辺の街並みから突出しない高さとした。	適・否
	2・山稜の近傍にあっては、稜線を乱さないよう配慮した配置及び高さとする。	有・無	・大和青垣の山稜に配慮して、屋上パラペットの高さを抑えることで、建築物全体の高さを抑えた。	適・否
	3・歴史的な街並み等街路景観が整っている地域にあっては、周辺との連続性に配慮した配置とすること。 その他の地域にあっては、原則として、道路の境界線から1m以上後退した配置とすること。	有・無	<input type="checkbox"/> 歴史的な街並み等 <input checked="" type="checkbox"/> (周辺との連続性に配慮した配置) <input type="checkbox"/> その他の区域 (道路の境界線から1m以上後退した配置) ・建築物を道路境界から5m離れた位置として、歩行者への圧迫感を抑えた。	適・否
	4・行為地の周辺に山林等樹木が多くある場合は、周辺の樹木の高さに配慮した高さとする。	有・無	・隣接する鎮守の森に配慮して、屋上の階段室の階高を低くして、建築物を目立たないよう考慮した。	適・否
	5・行為地内に歴史的な遺構や良好な樹木等がある場合は、これをできる限り保全し、活用すること。	有・無	・敷地内に古木があったので、敷地内の庭に移設した。 ・大正時代の建築物のファサードの一部を残して活用した。	適・否
	1・良好な周辺景観との調和に配慮した形態及び意匠とするとともに、建築物全体としてバランスのとれた形態及び意匠とすること。	有・無	・近接する旧集落に配慮して、屋根を和瓦の勾配屋根とするとともに、窓に格子を設けて和風のたたずまいとした。	適・否

基準の適用が必要な場合は「有」に、適用が必要でない場合は「無」に○する。

形態及び意匠			・自走式駐車場の2階以上の外壁に目隠しルーバーを設け、主棟との調和に配慮した。	
	2・歴史的街並みや集落又はこれらの地域及び歴史的な遺産の周辺にあっては、できる限り勾配屋根とすること。	有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 勾配屋根とした ・周辺集落の和風住宅に合わせて、屋根を4寸勾配の和瓦葺きとした。	適・否
	3・道路等の公共の場所に面する部分は、歩行者等に圧迫感、威圧感を感じさせないよう配慮した形態及び意匠とすること。	有・無	・道路側は、2階より上部部分の壁面を2mバックさせて圧迫感を軽減させた。	適・否
	4・外壁又は屋上など外部に設ける建築設備 <sup>※2</sup> は、原則として、露出させないようにすること。やむを得ず露出させる場合には、建築物本体及び良好な周辺景観との調和に配慮した形態及び意匠とすること。	有・無	・屋外の受水槽に目隠しの囲いを設けて景観に配慮した。 ・電気のキュービクルを屋内に設置して外部に露出しないよう配慮した。	適・否
	5・屋外階段、ベランダ等を設ける場合は、これらを含む建築物全体の調和に配慮すること。	有・無	・屋外階段にルーバー状の囲いを設けて景観に配慮した。	適・否
	6・外観に光源等の装飾を施す場合は、使用する位置や量等に配慮すること。 商業地域以外の地域にあっては、その光源等が形成する面積が、外観のうち各立面につき、当該立面の面積の5分の1を超えないこと。	有・無	<input type="checkbox"/> 商業地域 (使用する位置や量等に配慮) <input checked="" type="checkbox"/> 商業地域以外の地域 (光源面積は、各立面の面積の1/5以下) ・光源による装飾は、1階外壁部分のみとして、景観に配慮した。	適・否
	色彩	1・色彩は、別に定める色彩に関する景観形成の基準に適合するとともに、良好な周辺景観との調和に配慮すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 色彩に関する景観形成の基準に適合 ・外壁の彩度を落として落ち着いた外見となるよう計画した。	適・否
		2・多くの色彩やアクセント色を使用する場合は、使用する色彩相互の調和、使用する量のバランスに配慮すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 強調色は各立面の面積の1/5(1/10)以下 <input checked="" type="checkbox"/> 建築物等の中低層部で用いるよう配慮 ・アクセントカラーは1色に抑えて、1階部分のみに使用した。	適・否
	素材	1・良好な周辺景観との調和に配慮した素材を使用し、特に反射光のある素材を使用する場合は使用する位置や量等に配慮すること。	・屋根に和瓦を用いるとともに腰壁に杉板風のサイディングを張って周辺景観に配慮する外観とした。	適・否
		2・歴史的街並みや集落の整っている地域又はこれらの地域及び歴史的な遺産の周辺にあっては、地域の景観特性を特徴づけている伝統的素材(木、土、漆喰等)の活用を配慮すること。	・周辺の旧集落の街並みに配慮して、外壁は漆喰風の仕上げとした。	適・否
緑化	1・行為地が道路に面する部分は、出入口、門、塀等を設置する部分を除き、樹木等により緑化し、かつ、行為地内の緑化面積 <sup>※3</sup> は行為地面積の3%以上とすること。緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、良好な周辺景観との調和を図ること。	有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 道路に面する部分の緑化 <input checked="" type="checkbox"/> 緑化面積は行為地面積の3%以上確保 ・周囲の田園風景に配慮して敷地内に高木を多く植樹して緑化面積を10%とした。 ・利用者にやさしい沿道空間形成のため、隣接地と連続した高木の植樹、足元の花壇設置を計画した。	適・否
	2・住宅地にあっては、周辺の樹木と調和のとれた生垣や樹木とするよう配慮すること。	有・無	・道路側境界に生垣を用い、樹種は周辺住宅で多く使用されているクチナシを用いて周辺との調和に配慮した。	適・否

屋根の形状だけでなく勾配も配慮する。

光源等を使用する場合は、面積と共にその位置も配慮する。

原則として、緑化面積が3%以上必要となる。

※ 「適用」欄は、当該基準の適用の必要性の有無について記載して下さい。「適・否」欄は、記載不要です。

「具体的な配慮又は工夫の内容」欄は、枠内に収まらない場合は別紙若しくは図面に記載して下さい。

※1 主要な視点場とは、「まほろば眺望スポット百選」等に定められたもの、奈良景観資産に登録されたもののうち眺望に関わるもの。

※2 建築設備とは、建築基準法第2条第3号に規定する建築設備をいう。ただし、煙突及び避雷針は除く。

※3 緑化面積とは、奈良県風致地区条例施行規則第5条第1項の規定の例により算定した植栽面積をいう。

# 景観法届出のチェックシート

## 【一般区域・広域幹線沿道区域】

[工作物]

届出者の氏名	〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇			
行為の場所	〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地			
周辺景観の特性	(建築物の記入例参照)			
項目	基準	適用	具体的な配慮又は工夫の内容	※適・否
共通事項	1・景観上重要な山々や丘陵、歴史的な遺産等に対する主要な視点場※1からの眺望に配慮すること。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・〇〇から直接望見できる部分を少なくするため配置に工夫した。 また、目立たなくするため色彩に配慮するとともに高木の植樹を施した。	適・否
	2・地域の個性を尊重し、地域の景観に与える違和感や雑然さを軽減するよう努め、地域全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・周辺の里山との違和感を少なくするため色彩の彩度を抑えけるとともに、敷地周囲の〇〇（郷土種）による緑化をできる限り行った。	適・否
	3・行為地内に複数の建築物、工作物等を設ける場合は、全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・付属の工作物も含め、基調色を揃えた上、安全性確保、識別性向上のためのアクセント色を統一的使用した。	適・否
配置、規模及び高さ	1・良好な周辺景観との調和に配慮した配置、規模及び高さとする。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・周辺への圧迫感を緩和するため、工作物を敷地中央に配置し、配管の突出する部分をなくし、高さを抑えた。	適・否
	2・山稜の近傍にあっては、稜線を乱さないよう配慮した配置及び高さとする。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・稜線に配慮して、工作物の高さを抑えけるとともに屋根から下がった位置に配置した。	適・否
	3・原則として、道路の境界線から1m以上後退した配置とする。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の境界線から1m以上後退 ・道路面から5m後退してプラントを配置し、間に塀と植樹帯を設置した。	適・否
	4・行為地の周辺に山林等樹木が多くある場合は、周辺の樹木の高さに配慮した高さとする。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・隣接するクヌギ林に配慮して、工作物の高さを低く抑えた。 ・やむを得ず、望見される部分はシンプルなデザインで色彩に配慮した。	適・否
	5・行為地内に歴史的な遺構や良好な樹木等がある場合は、これをできる限り保全し、活用すること。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・敷地内の古木を残せるように工作物の設置位置を計画した。	適・否
形態及び意匠	1・良好な周辺景観との調和に配慮した形態及び意匠とするとともに、全体的にバランスのとれた形態及び意匠とする。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・工作物の上部の突出物を抑える設計として、景観に配慮した。	適・否
	2・道路等の公共の場所に面する部分は、歩行者等に圧迫感、威圧感を感じさせないよう配慮した形態及び意匠とする。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・道路側から5m後退した配置計画とした上、上層部ほどセットバックさせた。	適・否
	3・外観に光源等の装飾を施す場合は、使用する位置や量等に配慮すること。 商業地域以外の地域にあっては、その光源等が形成する面積が、外観のうち	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	<input type="checkbox"/> 商業地域 (使用する位置や量等に配慮) <input checked="" type="checkbox"/> 商業地域以外の地域 (光源面積は、各立面の面積の1/5以下)	適・否

原則として、1m以上後退した計画とする。



		各立面につき、当該立面の面積の5分の1を超えないこと。		・光源位置を極力下部に配置して、近隣景観に配慮した。	
	色彩	1・色彩は、別に定める色彩に関する景観形成の基準に適合するとともに、良好な周辺景観との調和に配慮すること。	有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 色彩に関する景観形成の基準に適合 ・周辺の集落になじむ茶系で彩度の抑えた色彩とした。	適・否
		2・多くの色彩やアクセント色を使用する場合は、使用する色彩相互の調和、使用する量のバランスに配慮すること。	有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 強調色は各立面の面積の 1/5 (1/10) 以下 <input checked="" type="checkbox"/> 建築物等の中低層部で用いるよう配慮 ・強調色を 1/30 に抑えた外観とした。 ・コーポレートカラーを全体に使用せず、ライン状のアクセントとした。	適・否
	素材	1・良好な周辺景観との調和に配慮した素材を使用し、特に反射光のある素材を使用する場合は使用する位置や量等に配慮すること。	有・無	・亜鉛メッキ部分に塗装を施し、光沢のある素材が露出しないよう配慮した設計とした。	適・否
緑化		1・行為地が道路に面する部分は、出入口、門、塀等を設置する部分を除き、樹木等により緑化し、かつ、行為地内の緑化面積※1は行為地面積の3%以上とすること。緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、良好な周辺景観との調和を図ること。	有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 緑化面積は行為地面積の3%以上確保 ・工作物の周辺と道路境界沿いに高木を植えて周辺景観に配慮した。 また、樹種は、近隣の河川沿いに多く見られる桜を使用した。	適・否
		2・住宅地にあつては、周辺の樹木と調和のとれた生垣や樹木とするよう配慮すること。	有・無	・道路側の境界は、近隣に多く見られるサザンカの生垣とした。	適・否

原則として、緑化面積が3%以上必要となる。

※ 「適用」欄は、当該基準の適用の必要性の有無について記載して下さい。「適・否」欄は、記載不要です。

「具体的な配慮又は工夫の内容」欄は、枠内に収まらない場合は別紙若しくは図面に記載して下さい。

※1 主要な視点場とは、「まほろば眺望スポット百選」等に定められたもの、奈良景観資産に登録されたもののうち眺望に関わるもの。

※2 緑化面積とは、奈良県風致地区条例施行規則第5条第1項の規定の例により算定した植栽面積をいう。

# 景観法届出のチェックシート

## 【一般区域・重点景観形成区域】

[開発行為]

届出者の氏名	〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇			
行為の場所	〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地			
周辺景観の特性	(建築物の記入例参照)			
項目	基準	適用	具体的な配慮又は工夫の内容	※適・否
共通事項	1・景観上重要な山々や丘陵、歴史的な遺産等に対する主要な視点場※1からの眺望に配慮すること。	有・無	・背景にある〇〇山の眺望に配慮して、大きな地形改変を避け、緑にあふれる住宅地として計画した。	適・否
	2・地域の個性を尊重し、地域の景観に与える違和感や雑然さを軽減するよう努め、地域全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有・無	・周辺の豊かな自然に調和するよう最大限緑化を図った。 ・周辺集落になじむよう等高線に沿った住宅敷地の配置とするとともに、公園や道路などから眺めの良さが楽しめるような住宅地計画とした。	適・否
	3・行為地内に複数の建築物、工作物等を設ける場合は、全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有・無	・道路の舗装・柵、街灯、案内版などは統一したデザインと色彩など、住宅地全体の調和に配慮した。	適・否
開発行為	1・できる限り現況の地形を活かし、地形の改変を必要最小限にするなど、長大なり面又は擁壁が生じないよう配慮すること。	有・無	・よう壁部分の高さを抑えて、上部をのり面で処理した。 ・できる限り自然地形を残し、高低差はのり面で処理し、ラフディングを施した。	適・否
	2・のり面は、できる限り緩やかな勾配とし、緑化を図ること。緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、周辺景観との調和を図ること。	有・無	・のり面を緩やかな勾配とした。 ・のり面は、中間部の犬走りに〇〇を植樹するとともに、種子吹き付けにより緑化した。	適・否
	3・擁壁は、良好な周辺景観と調和した形態及び素材又は前面に緑化を図るなど配慮すること。	有・無	・周辺集落になじむように間地石積みとした。 ・よう壁の道路側前面に植栽を施す計画とした。	適・否
	4・行為地内に歴史的な遺構や良好な樹木等がある場合は、これをできる限り保全し、活用すること。	有・無	・敷地内にあった大木を保全できるようによう壁の位置を配慮した。	適・否
	5・塀・柵等を設ける場合にあっては、良好な周辺景観との調和に配慮した形態及び意匠とするとともに、全体的にバランスのとれた形態及び意匠とすること。又その色彩は、別に定める色彩に関する景観形成の基準に適合するとともに、良好な周辺景観との調和に配慮すること。	有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 色彩に関する景観形成の基準に適合 ・塀は、色彩の彩度を抑えた落ち着いた外観にするとともに、高さを2mに抑え、周辺に配慮した。	適・否

塀・柵などの色は、色彩基準に合う範囲内で計画する。

※ 「適用」欄は、当該基準の適用の必要性の有無について記載して下さい。「適・否」欄は、記載不要です。

「具体的な配慮又は工夫の内容」欄は、枠内に収まらない場合は別紙若しくは図面に記載して下さい。

※1 主要な視点場とは、「まほろば眺望スポット百選」等に定められたもの、奈良景観資産に登録されたもののうち眺望に関わるもの。

# 景観法届出のチェックシート [土地の形質の変更]

## 【一般区域・重点景観形成区域】

届出者の氏名	〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇			
行為の場所	〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地			
周辺景観の特性	(建築物の記入例参照)			
項目	基準	適用	具体的な配慮又は工夫の内容	※適・否
共通事項	1・景観上重要な山々や丘陵、歴史的な遺産等に対する主要な視点場※1からの眺望に配慮すること。	有・無	・背景にある〇〇寺の眺望に配慮して、造成高さを抑えるとともに、敷地周囲の緑化により駐車場の車を遮へいし、できる限り人工的な景観を抑えた。	適・否
	2・地域の個性を尊重し、地域の景観に与える違和感や雑然さを軽減するよう努め、地域全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有・無	・周辺の歴史的な町並みになじむよう青空駐車場であるが、木造の門と塀を設けた。	適・否
	3・行為地内に複数の建築物、工作物等を設ける場合は、全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有・無	・碎石プラント、事務所、周囲の塀等は、周囲の自然となじむ茶系の基調色で揃えた。	適・否
土地の形質の変更	1・行為地内に歴史的な遺構や良好な樹木等がある場合は、これをできる限り保全すること。	有・無	・敷地内のケヤキの森の一部を保存するように計画した。	適・否
	2・塀・柵等を設ける場合にあっては、良好な周辺景観との調和に配慮した形態及び意匠とするとともに、全体的にバランスのとれた形態及び意匠とすること。又その色彩は、別に定める色彩に関する景観形成の基準に適合するとともに、良好な周辺景観との調和に配慮すること。	有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 色彩に関する景観形成の基準に適合 ・塀の道路側前面に植栽を施して近隣景観に配慮した。 ・塀の色彩は、周辺景観と調和するように明度を抑えたベージュ色とした。	適・否
<input checked="" type="checkbox"/> 土石の採取、鉱物の掘採の場合	1・周辺からは目立ちにくいよう、採取等の位置、方法を工夫し、原則として、行為地周囲の緑化を行うこと。緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、周辺景観との調和を図ること。	有・無	・道路から目立ちにくい位置で採取を行う計画とした。 ・樹木を伐採した敷地周辺には、中木を植え、道路側は特に高木の植栽を施す。	適・否
	2・採取、掘採後は、周辺の植生と調和した緑化を図ること。	有・無	・採取が終わった部分から順次種子吹付けにより緑化を施す。 ・吹付け種子は、周辺から採取したものを使用する。	適・否
<input checked="" type="checkbox"/> 土地の開墾、その他の土地の形質の変更の場合	1・できる限り現況の地形を活かし、地形の改変を必要最小限にするなど、長大なり面又は擁壁が生じないように配慮すること。	有・無	・よう壁部分を極力抑えて現況の地形を活かす計画とした。	適・否

塀・柵などの色は、色彩基準に合う範囲内で計画する。

該当する項目にチェックして記載する。

	2・のり面は、できる限り緩やかな勾配とし、緑化を図ること。緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、周辺景観との調和を図ること。	有・無	・のり面に種子を吹付けて緑化を図るとともに、近隣から目立つ部分はツツジの植栽を施した。	適・否
	3・擁壁は、良好な周辺景観と調和した形態及び素材又は前面に緑化を図るなど配慮すること。	有・無	・よう壁面の前面に植栽を施して、よう壁を目立たないように配慮した。	適・否
	4・原則として、行為地周囲の緑化を行うこと。緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、周辺景観との調和を図ること。	有・無	・周囲に多く使われているサザンカによる生垣を造り、入り口付近にはハナミズキの高木を植栽した。	適・否

※ 「適用」欄は、当該基準の適用の必要性の有無について記載して下さい。「適・否」欄は、記載不要です。

「具体的な配慮又は工夫の内容」欄は、枠内に収まらない場合は別紙若しくは図面に記載して下さい。

※ 1 主要な視点場とは、「まほろば眺望スポット百選」等に定められたもの、奈良景観資産に登録されたもののうち眺望に関わるもの。



# 景観法届出のチェックシート

## 【一般区域・重点景観形成区域】

[物件の堆積]

届出者の氏名	〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇			
行為の場所	〇〇市〇〇町〇〇番地、〇〇番地			
周辺景観の特性	(建築物の記入例参照)			
項目	基準	適用	具体的な配慮又は工夫の内容	※適・否
共通事項	1・景観上重要な山々や丘陵、歴史的な遺産等に対する主要な視点場※1からの眺望に配慮すること。	有・無	・〇〇からの眺望に配慮して、堆積高さを〇mに抑えるとともに、〇〇の生垣により直接望見されないよう配慮した。	適・否
	2・地域の個性を尊重し、地域の景観に与える違和感や雑然さを軽減するよう努め、地域全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有・無	・建築物の背後で、敷地の中央に規則的に堆積し、敷地周囲を板塀と生垣で囲うことによって、周辺に与える違和感を少なくした。	適・否
	3・行為地内に複数の建築物、工作物等を設ける場合は、全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること。	有・無	・事務所、敷地周囲の塀は木造として、素材や色彩の統一感に配慮した。	適・否
物件の堆積	1・道路等の公共空間から見えにくい位置及び規模とするよう配慮すること。	有・無	・堆積物を建築物の裏側に置いて、道路面から見えにくいように配慮した。	適・否
	2・高さを可能な限り抑えるとともに、整然とした物件の堆積を行うよう配慮すること。	有・無	・堆積物の高さを周辺の塀の高さと同じ2mに抑えて、規則正しく配置し、周辺から見えないように配慮した。	適・否
	3・行為地周囲の緑化を行うなど、原則として、周囲の道路等からの遮へいを行うこと。緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、周辺景観との調和を図ること。	有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 周囲の道路等から遮へい ・高さ2mの鋼板塀により敷地周囲を囲って近隣住宅から遮へいする計画とした。 ・併せて道路側に生垣を施す計画とした。	適・否
	4・行為地内に歴史的な遺構や良好な樹木等がある場合は、これをできる限り保全すること。	有・無	・敷地内の樹木をできる限り残せるように堆積物の配置に配慮した。	適・否
	5・塀・等を設ける場合にあっては、良好な周辺景観との調和に配慮した形態及び意匠とするともに、全体的にバランスのとれた形態及び意匠とすること。又その色彩は、別に定める色彩に関する景観形成の基準に適合するとともに、良好な周辺景観との調和に配慮すること。	有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 色彩に関する景観形成の基準に適合 ・敷地周辺に高さ2mの板塀を設置して、周辺景観に配慮した。	適・否

堆積物や敷地の周辺は、塀や植栽などで遮へいする。

※ 「適用」欄は、当該基準の適用の必要性の有無について記載して下さい。「適・否」欄は、記載不要です。

「具体的な配慮又は工夫の内容」欄は、枠内に収まらない場合は別紙若しくは図面に記載して下さい。

※1 主要な視点場とは、「まほろば眺望スポット百選」等に定められたもの、奈良景観資産に登録されたもののうち眺望に関わるもの。

## 図面作成例

### 計画地の現況

- ・計画地は国道〇〇号線に面した近隣商業地域で、周辺には大型沿道店舗、事務所や共同住宅が建ち並ぶ場所。
- ・計画地の北側など国道から離れた場所は、戸建て住宅が建ち並ぶ住宅地となる。
- ・敷地の西側背景には大和青垣の山並みが眺望できる。
- ・用途地域：近隣商業地域（色彩基準：商業系地域）
- ・景観計画の区域：広域幹線沿道区域

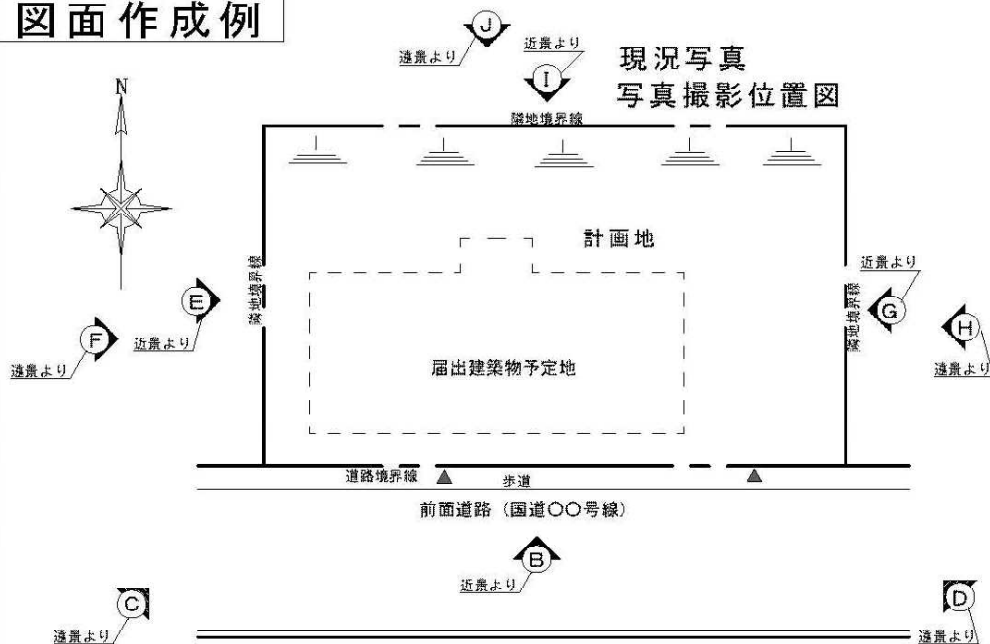


都市計画地図(1/2500)

設 計	風致景観設計事務所	一級建築士 第〇〇〇〇号 〇〇 〇〇 印	工 事 名	登大路マンション	縮 尺	1/2500	図面名	付近見取図	図 面 番 号	1 / 6
-----	-----------	-------------------------	-------	----------	-----	--------	-----	-------	---------	-------

# 図面作成例

## 現況写真 写真撮影位置図



※写真の撮影方向は、行為の場所及びその周辺特性が分かるように撮って下さい。  
 ※撮影枚数の指定はありませんが、行為の場所及び周辺の特徴が判断できる程度の枚数を撮って下さい。  
 ※撮影にあたっては、行為の敷地の近景からだけでなく、周辺を含めた遠景からも撮って下さい。

カラー写真

A方向写真

カラー写真

B方向写真

カラー写真

C方向写真

カラー写真

D方向写真

カラー写真

E方向写真

カラー写真

F方向写真

カラー写真

G方向写真

カラー写真

H方向写真

カラー写真

I方向写真

カラー写真

J方向写真

設計

風致景観設計事務所

一級建築士 第〇〇〇〇〇号  
〇〇 〇〇 印

工事  
名称

登大路マンション

縮尺 1/250

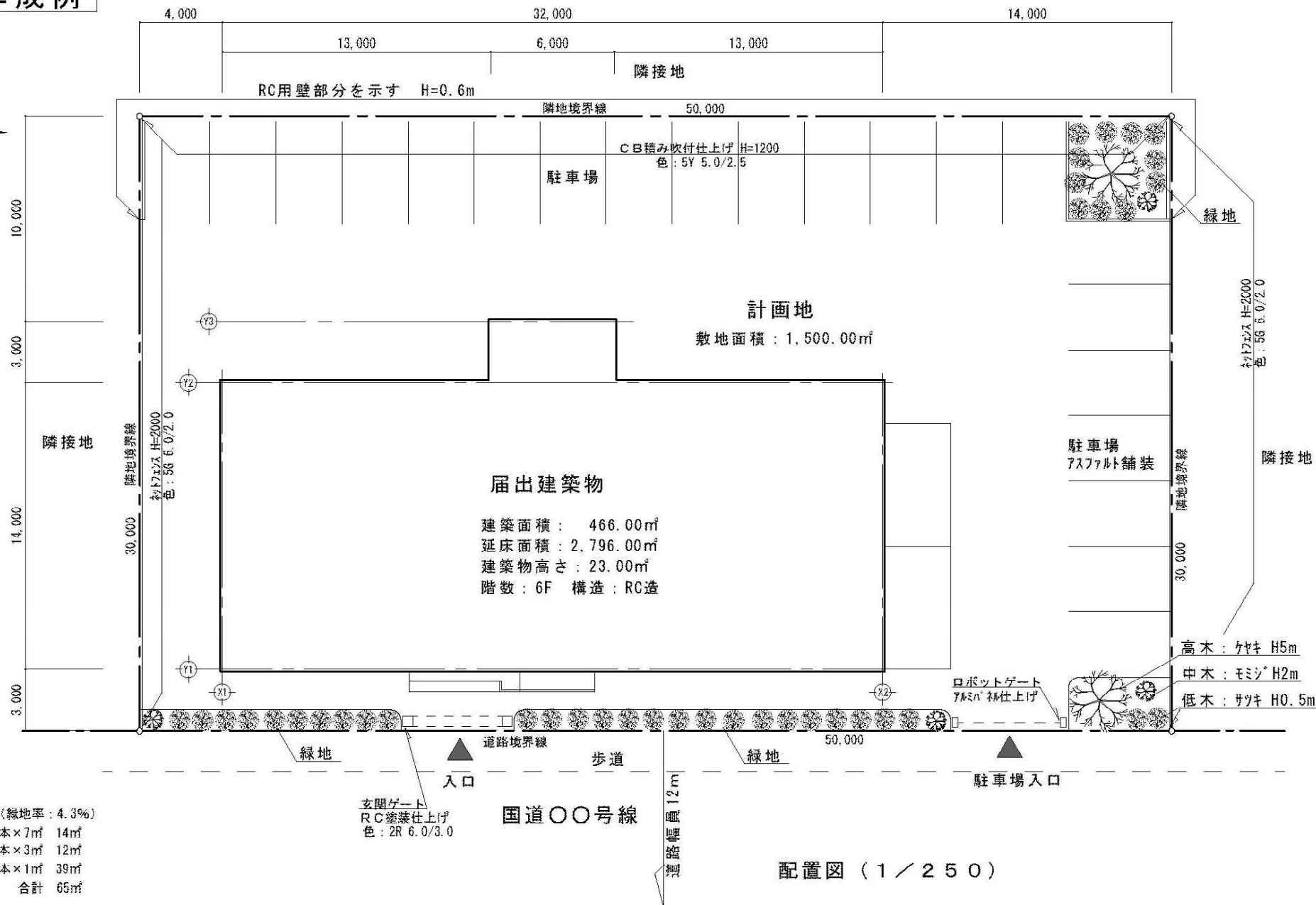
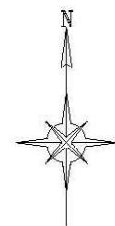
図面名

現況写真

図  
番

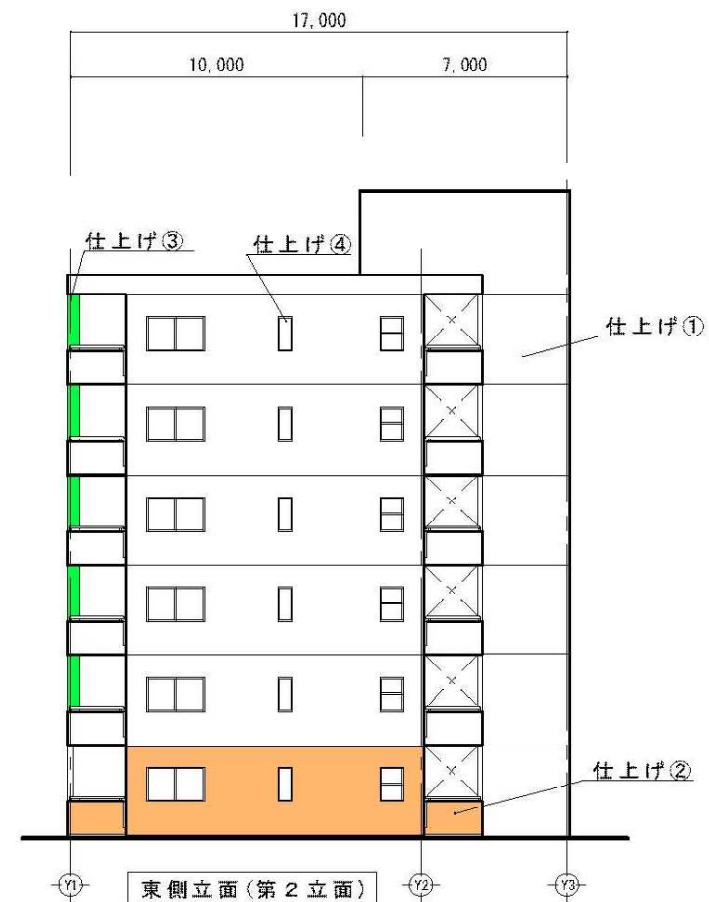
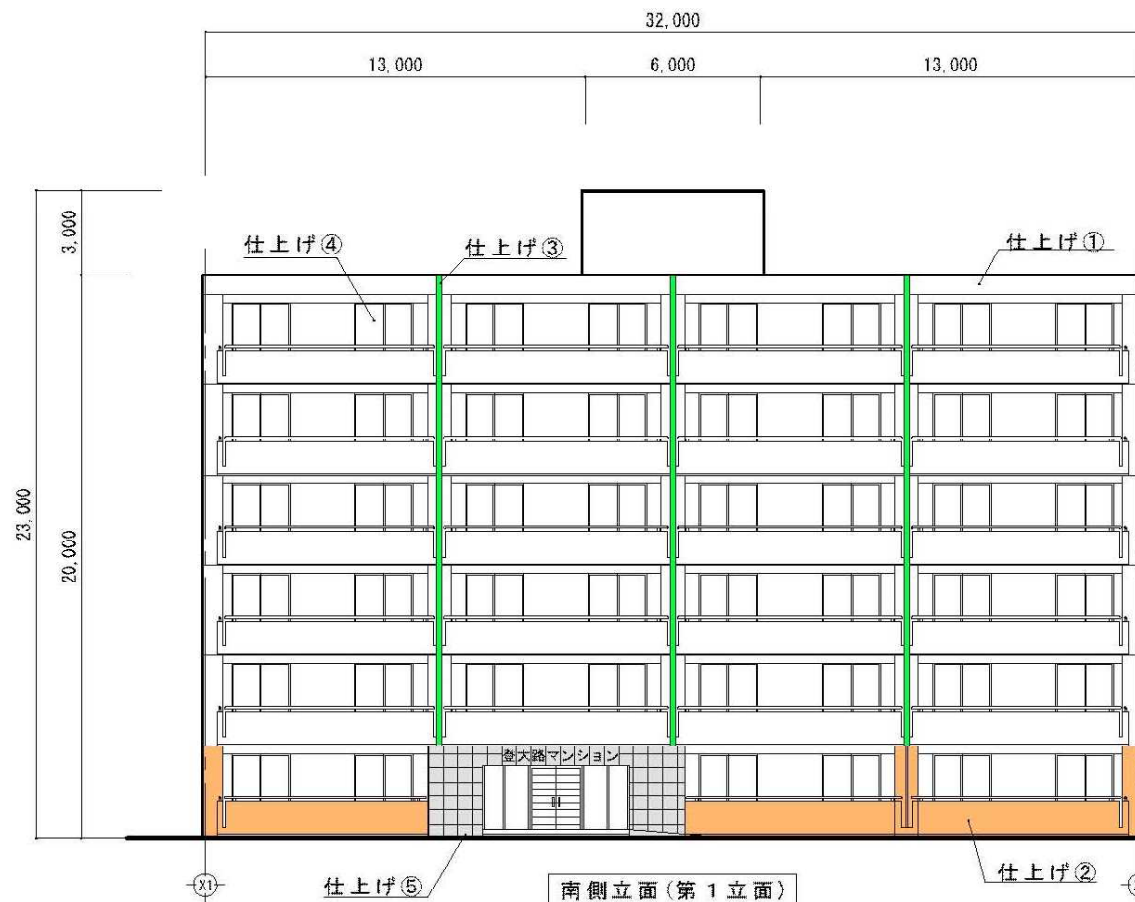
面  
号 2 / 6

# 図面作成例



設計	風致景観設計事務所	一級建築士 席〇〇〇〇号 〇〇 〇〇 印	工 事 名	登大路マンション	縮 尺	1/250	図面名	配置図	図 面 番 号	3 / 6
----	-----------	-------------------------	-------	----------	-----	-------	-----	-----	---------	-------

# 図面作成例



## 仕上げ表

		【第1立面】	【第2立面】
・仕上げ①：コンクリートに吹き付け仕上げ	色彩：10YR 8.0/2.0	色彩の面積：434.49㎡	色彩の面積：283.58㎡
・仕上げ②：コンクリートに吹き付け仕上げ	色彩：7YR 7.0/6.0 (強調色)	色彩の面積：34.62㎡	色彩の面積：32.66㎡
・仕上げ③：コンクリートに吹き付け仕上げ	色彩：10GY 6.0/8.0 (強調色)	色彩の面積：15.03㎡	色彩の面積：4.00㎡
・仕上げ④：窓のガラス面	色彩：色彩無し	色彩の面積：161.85㎡	色彩の面積：23.76㎡
・仕上げ⑤：御影石貼り仕上げ	色彩：自然素材	色彩の面積：16.61㎡	

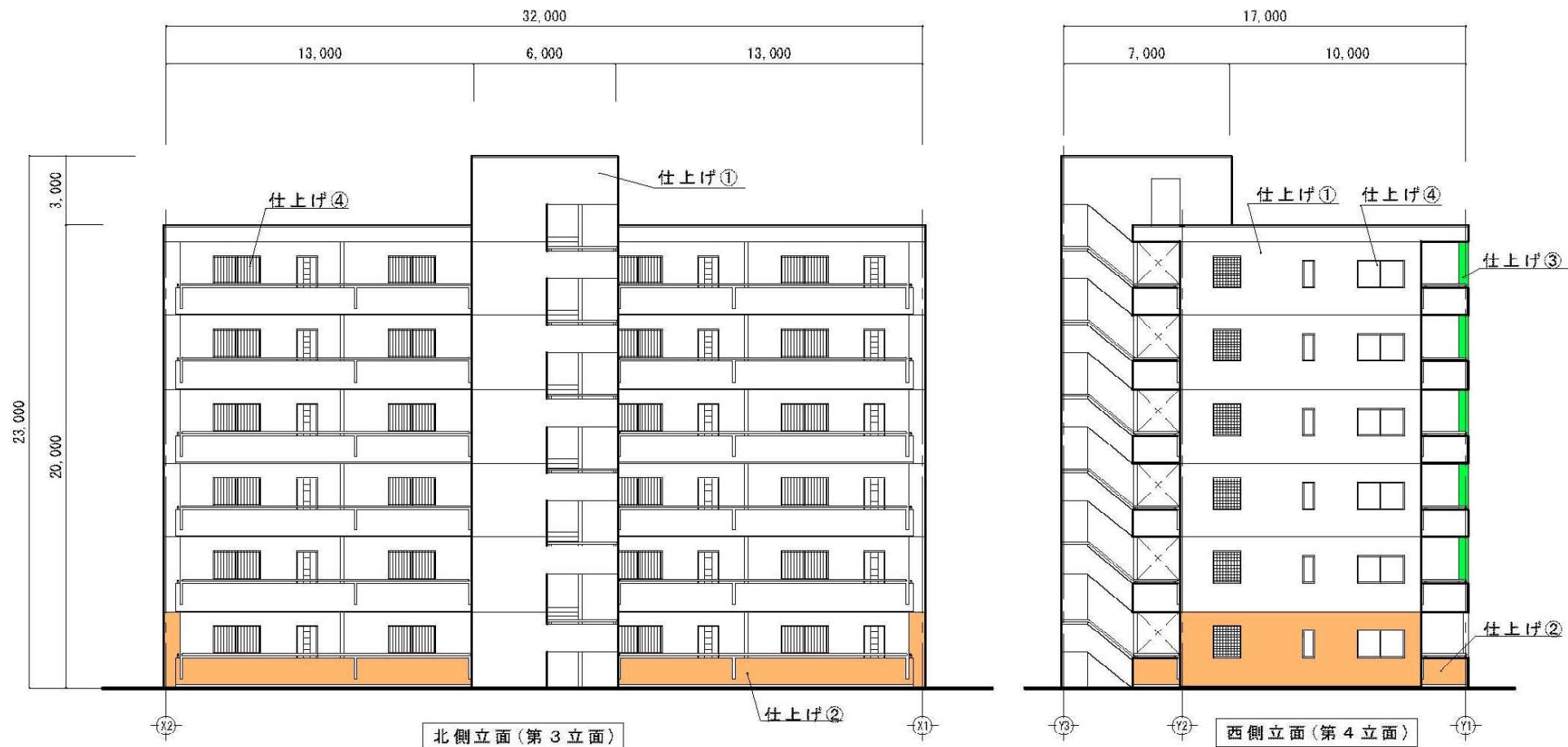
## 立面図 (1 / 250)

※立面図には彩色を施して下さい。

設計 風致景観設計事務所 一級建築士 第○○○○号 登大路マンション

縮尺 1/250 図面名 立面図 図番 4 / 6

# 図面作成例



## 仕上げ表

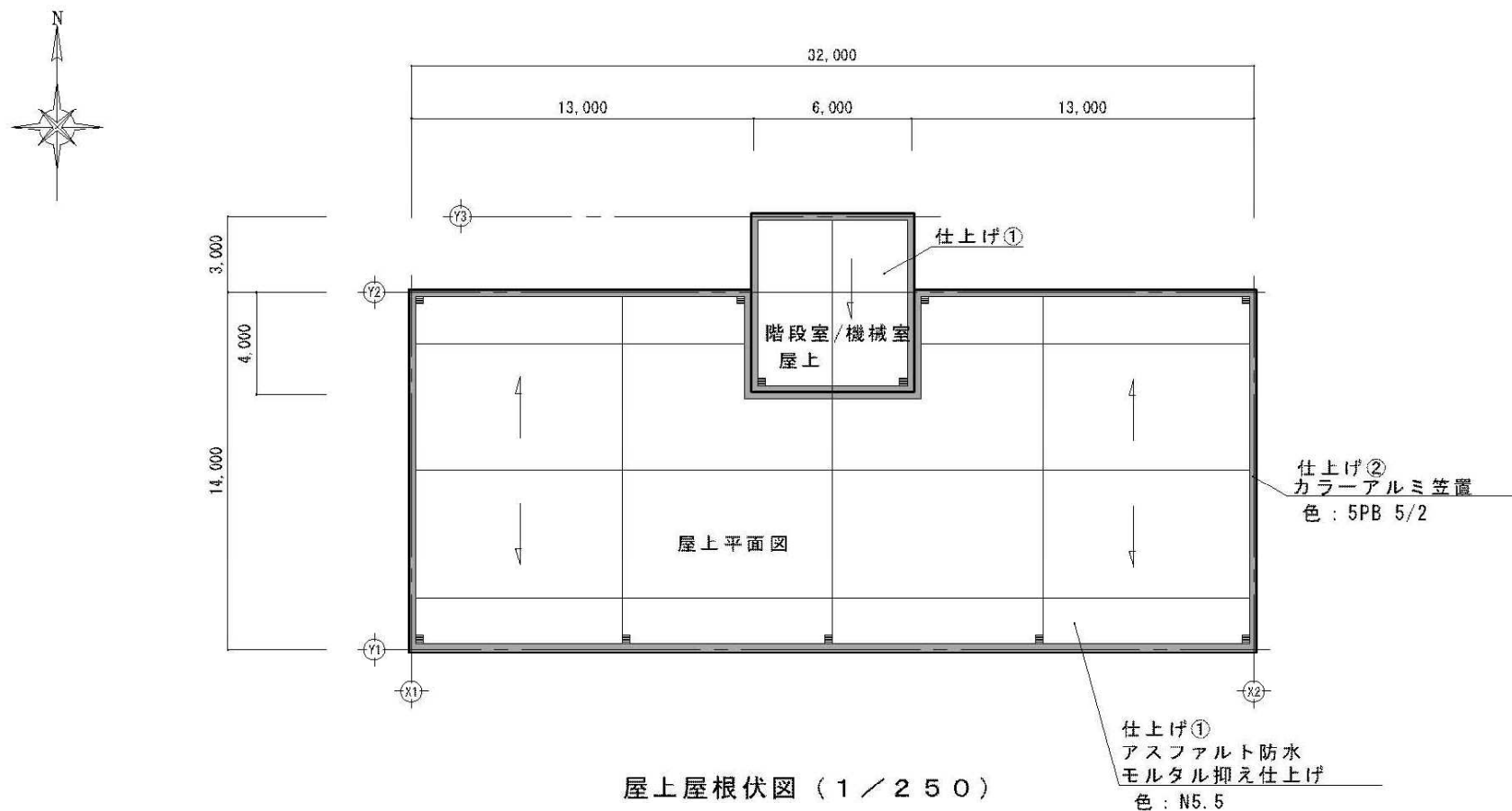
		【第3立面】	【第4立面】
・仕上げ①: コンクリートに吹き付け仕上げ	色彩: 10YR 8.0/2.0	色彩の面積: 577.10㎡	色彩の面積: 279.98㎡
・仕上げ②: コンクリートに吹き付け仕上げ	色彩: 7YR 7.0/6.0 (強調色)	色彩の面積: 34.62㎡	色彩の面積: 31.94㎡
・仕上げ③: コンクリートに吹き付け仕上げ	色彩: 10GY 6.0/8.0 (強調色)	使用無し	色彩の面積: 4.00㎡
・仕上げ④: 窓のガラス面	色彩: 色彩無し	色彩の面積: 50.88㎡	色彩の面積: 28.08㎡

## 立面図 (1/250)

※立面図には彩色を施して下さい。

# 図面作成例

※陸屋根などで、屋根面や屋上面が立面図で見えない場合に屋根伏図を添付して下さい。



## 仕上表

【屋上面】		
・仕上げ①: アスファルト防水モルタル仕上げ	色彩: N5.5	色彩の面積: 562.07㎡
・仕上げ②: カラーアルミ笠置	色彩: 5PB 5/2	色彩の面積: 34.62㎡

※陸屋根面も色彩基準の屋根基調色の許容範囲内で計画して下さい。  
※立面図には彩色を施して下さい。

奈良県 水循環・森林・景観環境部  
景観・自然環境課 景観・屋外広告係  
〒630-8501 奈良市登大路町30番地  
TEL：0742-27-8756 (直通)  
FAX：0742-22-8276  
[平成 21 年 8 月作成]  
[平成 26 年 4 月改正]  
[令和 2 年 5 月改正]  
[令和 3 年 4 月改正]